

ウェルフェア

おおわに

 No. 166



みんなで築く **あ** **ん** **し** **ん** おおわに

車いすを寄贈されました。

大鰐郵便局（局長小野満）が公共事業活動の一環として申請していた車いすが採択され、大鰐町社会福祉協議会に贈られることになりました。

十月二十九日、総合福祉センター談話室で、米田敦平館郵便局長（青森県中部地区郵便局長会会長）、八戸茂武蓬田郵便局長（青森県中部地区郵便局長会理事）、佐藤徹長峰郵便局長、大鰐郵便局長にお越しいただき大鰐町社会福祉協議会会長に本会の福祉活動に活用するよう車いす二台の贈呈がありました。

米田会長からは、「今回の車いすで福祉がさらに進展するよう活用いただきたい。」とあいさつがあり、山田会長は、「いただいた車いすを介護や障害者の方の生活に利用していただいで役立てたい。」とお礼を述べておりました。

大鰐町社協は、家族介護の際に急に必要になった場合などに貸し出す事業がありますが、今回寄贈されました車いすは、その事業などに活用してまいりたいと考えております。

令和四年新春にあたり



社会福祉法人大鰐町社会福祉協議会
会長 山田 金治

大鰐町民の皆様には、輝かしい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスが一日に五千人を超える新規感染者が出るなど広範囲に蔓延し、二回目の緊急事態宣言が発出されました。その苦難続きにあっても、本会に対しまして、皆様方の変わらぬご支援ご協力を賜り衷心より感謝申し上げます。

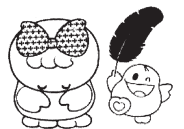
令和三年は、新型コロナウイルス禍の中、無観客で東京オリンピックパラリンピックが開催され、日本国中が沸いたように感じられ、新しい競技の妙技に感心させられたところです。また、新型コロナウイルス感染症は、十月以降ワクチンの投与により感染者数も減り落ち着いてきたようです。

少し出遅れることとなりましたが、本会は地域とふれあい、地域が支え合う町づくりを目指し、「ふれあいサロン」、「ほっとカフェ」を実施して遠のいたコミュニケーションが再び取れるようにしたいと考えております。

町には、本会の気づかないところで新型コロナウイルスの影響で、あるいは高齢のために生活に苦勞されている方もあり、本会のたすけあい事業を始め、支援の方策を考えてご苦勞を軽減していただくことも考えられるところです。

本会は、基本理念に「みんなで築くあんしんおおわに」を掲げており、その理念を達成するため皆さんとともに着実に福祉活動を進めてまいり所存でございます。

本年も今までどおり皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。新年のごあいさついたします。



赤い羽根共同募金中間報告

皆様からの善意をたくさんいただいております。

赤い羽根共同募金運動は、十月一日の街頭募金から始まり、町民の皆様や職域の方々から心あるたくさんの方々の善意の募金をいただきました。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の心配のさなかでありながら、「ピンバッチのわに」が好評で募金総額が増額したところです。

今年も五百円以上の寄付をされた方には、ピンクのわに（あじやりん）のバッチを贈呈しております。

十月一日には、大鰐町赤十字奉仕団の皆さまのご協力により、青森銀行、わにかみ、相生橋、大湯及び大円寺前での街頭募金や職域及び戸別募金がたくさん集まりました。

この赤い羽根募金で集まったお金は、地域活性化のための懇談会や福祉活動の費用として活用されるほか、災害ボランティアに役立てるなど「自分の町をよくするしくみ」に役立てられます。今後もご協力よろしく願いたします。



内 訳	募金額 (円)
戸別募金	1,278,860
街頭募金	12,378
学校募金	31,692
職域募金	54,495
その他	174,554
合 計	1,551,979

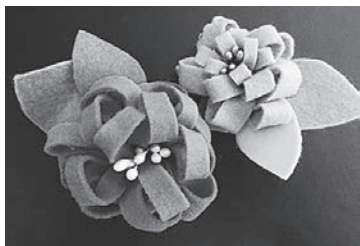
(令和3年12月10日現在)

ふれあいサロンの開催

新型コロナウイルス感染者対策のパッケージの期限が過ぎた十月からふれあいサロンを実施することになりました。感染症については、まだまだ油断できませんが、町民の皆さんも長く発散する場がなくフラストレーションが溜まって困っていたと思い、サロンをはじめました。もちろん、マスクや手指消毒など感染症対策もきちんとしたうえで実施することとしました。

十月五日（火）は、「フェルトで作るブローチ」をつくるのに十三人の方が集まり、思い思いのきれいなブローチをつくり、早速、胸に飾り付けたりしておりました。十一月二日（火）は、「ステンドグラス風壁飾り」づくりで二十人参加しました。完成した壁飾りは、みんなの作品展で展示いたしました。また、十二月七日（火）は、映画上映会でした。綾小路きみまろの「爆笑！スペシャルライブ」を上映したところ皆さん大笑いしておりました。

愛らしいブローチ



壁飾りの講義中

入浴福祉バスでぽかぽか

昨年度は、この入浴福祉バスの実施が、新型コロナウイルス感染症の感染拡大のおそれから再三中止しました。利用をしようと計画していた方には期待外れとなりました。今年度は、今のところ新型コロナウイルス感染症が鳴りをひそめておりますので、感染対策を取りながら入浴福祉バス運行事業を進めてまいります。令和三年度の予定は、次のとおりです。

高齢者入浴福祉バス運行予定

マイクロバス	駒の台、駒木、九十九森、長峰、元長	野三ツ目内、早瀬野、虹貝、新田方面
ジャンボタクシー	森山、宿川原	八幡館、鯖石
1回目	11月16日（火）	11月24日（水）
2回目	12月14日（火）	12月16日（木）
3回目	1月18日（火）	1月20日（木）
4回目	2月15日（火）	2月17日（木）
5回目	3月1日（火）	3月3日（木）
6回目	3月15日（火）	3月16日（水）

冬期間高齢者生きがい事業 元氣ハツラツ！オオワニマチD

高齢者の方は、どうしても冬期間の閉じこもり気味の生活が多くなります。そのちじこまって固くなった身体を柔らかくして活力を取り戻すのに軽い運動（チェアヨガ、ふまねつと体操やニュースポーツなど）を

用意しております。身体を動かして汗を拭いたら、大鰐町自慢の温泉に入って汗を流し、さっぱりした顔で友達との会話を楽しんでもらいます。家に帰っても元氣いっぱいにかやかな顔でいられるようになればと社協職員は、お待ちしております。



11月16日開催のチェアヨガ 正しく歩く訓練

大鰐町心配ごと相談所開設日

○大鰐町社協が行う一般相談
1月6日（木）、2月3日（木）
3月3日（木）

○津軽広域社協連合会の法律相談
大鰐町での開催は2月25日（金）
10時から12時30分まで

法律相談は、津軽広域社協連合会の大鰐町以外の市町村でも開催しておりますので、予約状況によっては、法律相談を受けることもできます。下記担当までお問い合わせください。

担当 大鰐町社協 山口
Tel 47-5151

大鰐町社会福祉協議会では、下記の貸付事業を行っております。
(詳しいお問い合わせは社協事務局まで)

生活福祉資金貸付事業 (債権者：都道府県社協)

目的	低所得世帯等に対し、資金の貸付と必要な援助指導を行うことにより、その経済的自立と生活意欲の助長促進を図り、安定した生活を営ませることを目的とします。
貸付対象	いずれも借受人の世帯に貸付する資金です。 (1)低所得世帯…世帯全体の収入を合計し、世帯構成員の人数で割り返した時、1人当たりの所得が月額8万円以下の世帯。 (2)障害者世帯…障害者手帳の交付を受けている世帯。障害者自身の生活の自立と資金の必要性を踏まえて判断します。 (3)高齢者世帯…収入の目安は低所得世帯に準じます。
貸付条件	貸付を受ける事によって自立更生が可能な者に対し貸付を行います。
必要な書類	貸付種類に応じて、申請書・添付書類が異なります。

資金の種類		貸付標準額	据置き期間	償還期限	
総合支援資金	生活支援費	複数世帯 月額20万円以内 ※最大12か月間 単身世帯 月額15万円以内 ※最大12か月間	最終貸付日から6月以内	20年以内	
	住宅入居費	40万円以内			
	一時生活再建費	60万円以内	貸付けの日(生活支援費とあわせて貸し付けている場合には、生活支援費の最終貸付日)から6月以内		
福祉資金	福祉費	資金の目的によって異なります。	貸付けの日(分割による交付の場合には最終貸付日)から6月以内	資金の目的によって異なります。	
	緊急小口資金	10万円以内	貸付けの日から2月以内	据置期間経過後8月以内	
教育支援資金	教育支援費	高校	月額)3万5千円以内	当該修学資金の貸付けにより、就学した者が高等学校、大学又は高等専門学校を卒業した後の6月以内	20年以内
		高等専門学校	月額)6万円以内		
		短期大学	月額)6万円以内		
		大学	月額)6万5千円以内		
		就学支度費	50万円以内		
不動産担保型生活資金	不動産担保型生活資金	月30万円以内	契約の終了後3月以内	据置期間終了後	
	要保護世帯向け不動産担保型生活資金	生活扶助額の1.5倍以内	契約の終了後3月以内	据置期間終了後	

たすけあい資金貸付事業 (債権者：大鰐町社協)

資金の種類	貸付限度額	申請に必要な書類等
生活資金	一時的な生活費	3万円以内
福祉資金	自立更生の経費	5万円以内
療養資金	病気療養の経費	5万円以内 病院の請求書 ※高額療養費と同時貸付はできません
高額療養資金	高額療養費支払の経費	高額療養費支給対象額90%以内 国民健康保険証 病院の請求書
出産資金	出産に要する費用	出産一時金の90%以内 母子手帳
その他	<ul style="list-style-type: none"> 利率は無利子となります。 償還期限は1年以内となります。 自立と生活助長が目的の為、各地区の民生委員からの意見書が必要となります。 	

※たすけあい資金貸付事業は町民からの善意の寄附によって実施しております。

第9回 大鰐町総合福祉センター

みんなの作品展

開催期間
11月16日(火)～
12月12日(日)



4次元ボックス作ったよ



地域の方々の作品①
山野草、俳句、絵画



地域の方々の作品②
校長先生も出品しました。



版画上手く刷れていますね。



とってもリアルなザリガニです。



今年最初のふれあいサロンで
スタンドグラス風に壁掛け



キャップで作ったアンパンマン。



60名超の花の大画です。



陶器を焼きました。絵もあるよ。



新感覚の絵画です。



母親クラブに感謝しております。



オブジェがいっぱい。

出張ふれあい児童館
虹貝新田でふれあいました

十一月二十七日に虹貝新田へき地保健福祉館で児童館が出張して地域とふれあいました。児童館では、毎年地域とふれあう催しを企画しており、一方虹貝新田の高齢者の方々は、みんな集まって楽しみたいたの要望をマッチングさせて今回の出張ふれあい児童館の実施になりました。

初めは、緊張していた子どもたちでしたが、おしゃべりやゲームで緊張がほぐれ、子どもたちも地域の方も久しぶりに大きな声を出して笑っておりました。

参加していた地域の方は、「おもしろなあ、もっと遊びてな」と楽しんでおりました。



“あめじゃんけん”で負けちゃったはると君です。

この町民と児童がふれあう取り組みを、やってみたくと思う地区からの要望などを実施しております。ぜひ、大鰐町中央児童館までお問い合わせください。

地域共生社会勉強会

十二月二日

(木)、九十九森公民館で青森県、大鰐町、町内の社会福祉法人、大鰐町社会福祉協議会、九十九森地区や虹貝新田の皆さんが一堂に会して今後とが想定されている共生社会について地域と行政・社会福祉法人・社協がどのようにかわっていかねばいいのか勉強会が開催されました。



大鰐町は、高齢化率が四十%以上になっており、老々介護や一人暮らし老人について憂慮される時代となっております。高齢者の方のみの家庭であっても普通に生活していくには何を支援したらいいのか、あるいは弱くなった身体でも生活するには何が必要なのかを勉強しました。この勉強会の中では、住民の暮らしに関する調査の結果から地域住民が何を求めているのかも分析して各集落によつては、様々な答えが出てくることを考えられ学ぶことができた。

この勉強会は、これらも踏まえたうえで行政・社会福祉法人とともに地区住民が安心して暮らせる町を目指し、関係機関の役割や事業を考えたいこうとするものです。

編集後記

大鰐町の花は、「つつじ」だ。春に福祉センターの庭に町からの補助でつつじを植えた。

冬を前にして来年もきれいに咲くよう職員が雪囲いをする事になった。

雪囲いには、杭が必要でその杭となる垂木を知り合いの大工さんからいただいた。腕も悪いのに切れない鉋で垂木を尖らせ杭にしようと思案なことをした。杭の出来栄は、当然悪い。

そんな杭でも一冬ぐらいいは、つつじを守ってくれるだろうと楽観的につつじを囲いつつ、もう少し太くなるまでは雪囲いを続けなければと決めた。

この雪囲いのように社協の事業も大いに発展するよう各事業には手間をかけつつよう期待をし、事業を展開したいものである。(調査広報部会)

善意の寄附

- 10月27日に匿名の方から **いも、カボチャ**
- 11月30日に匿名の方から **玄米10kg**
- をいただきました。
- 10月29日 青森県中部地区郵便局長会より **車いす2台** を寄贈されました。

社会福祉活動や困窮者支援の一環として効果的に使わせていただきます。ありがとうございました。

【編集発行】

社会福祉法人大鰐町社会福祉協議会
住所 青森県南津軽郡大鰐町大字蔵館字川原田37-6
(総合福祉センター内)
電話 0172-47-5151 FAX 0172-47-5153

この広報紙は、みなさまからの「社協会費」と「共同募金配分金(赤い羽根募金)」の一部により発行しています。